

科目名 Course Name	生活支援技術VI Independent Living Skill VI						
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	石川 幸子						
連絡先(質問等)	福祉棟2階研究室、オフィスアワーは月・火・木・金の授業時間以外						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)						
関連 DP	DP2,DP5						
授業の概要と到達目標	<p><概要> 「生活支援技術VI」では、安眠をもたらす環境について理解し、安眠・安楽への基本技術を習得する。また、疾病に起因する内部障害の特性、障害による具体的な生活課題と生活上の留意点について学習する。そして、内部障害のため日常生活に支障のある人に対し、適切な介護を行うための知識・技術を習得し、家族介護者への支援についても考える。</p> <p><到達目標> ①安眠をもたらす環境について説明でき、安眠・安楽のための技術のひとつである電法を適切に実施できるようにする。 ②内部障害の種類と原因、および生活課題を列挙できるようにする。 ③内部障害のある利用者の介護における留意点について、具体的に説明できるようにする。 ④内部障害児者の家族への支援の必要性と方法について説明できるようにする。</p>						
授業の方法	主に講義形式で授業を進める。利用者の生活上の留意点や利用者および家族に必要な支援については事例を挙げながら説明し、具体的に考える機会を持つ。また、医療的処置については、イメージしやすいように実物を提示する。安眠・安楽の援助に関しては演習を行う。						
学習成果	L01	安眠をもたらす環境を整え、安眠・安楽のための支援方法を選択し実施することができる。 内部障害の症状や内部障害児者の生活課題に関する基礎知識をもとに、内部障害児者および家族介護者に対する支援を行うことができる。					
	L02	医療的処置を必要とする利用者に対しては、介護福祉士として支援すべきことについて、説明することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	小テストは終了後その時間内で答え合わせ・解説を実施する。平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	教科書:最新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●「こころとからだのしくみⅠ～Ⅳ」「発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ」の内容を復習して授業に臨むこと。講義・演習とも積極的に取り組み、演習時は身だしなみを整えること。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。 						
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ●実務経験(職種:介護福祉士、職歴:通算13年) ●特に高齢者介護の多様な経験を、内部障害のある方への生活課題や生活支援方法の説明時に活用する。 						
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	既習内容の復習および教材の準備をして授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。また、技術演習の際には、身だしなみを整えて積極的に参加すること。	20					

レポート/作品					
発表					
小テスト	5 回目、9 回目、13 回目に、それまでの学習内容に関する小テストを実施する。内部障害の定義、心臓機能・腎臓機能・呼吸器機能・膀胱直腸機能それぞれの障害に応じた生活支援技術について理解できている。(各 10%)		30		
試験	安眠の支援技術、内部障害とは、心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、HIV による免疫の機能障害、肝臓機能障害、それぞれの医学的知識と障害に応じた生活支援について理解できている。		50		
その他					
合計			20	80	
回数		授業計画			
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・受講時の留意点など) 安眠・安楽をもたらす支援技術① 環境整備			
	事前・事後学習	ぐっすり眠れる条件を列举する。			
2	授業内容	安眠・安楽をもたらす支援技術② 寢法【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P96～P101 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
3	授業内容	内部障害とは① 定義、内部障害児者の現状			
	事前・事後学習	テキスト目次から、内部障害を書き出す。			
4	授業内容	内部障害とは② 内部障害児者の生活課題			
	事前・事後学習	小テスト範囲(第 1 回～第 3 回)の勉強。			
5	授業内容	(小テスト①と解説) 心臓機能障害① 医学の基礎知識			
	事前・事後学習	テキスト P75～P86 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
6	授業内容	心臓機能障害② 障害に応じた生活支援			
	事前・事後学習	テキスト P87～P90 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
7	授業内容	腎臓機能障害① 医学の基礎知識			
	事前・事後学習	テキスト P108～P116 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
8	授業内容	腎臓機能障害② 障害に応じた生活支援			
	事前・事後学習	小テストの範囲(第 4 回～第 7 回)の勉強。			
9	授業内容	(小テスト②と解説) 呼吸器機能障害① 医学の基礎知識			
	事前・事後学習	テキスト P91～P100 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
10	授業内容	呼吸器機能障害② 障害に応じた生活支援			
	事前・事後学習	テキスト P101～P105 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
11	授業内容	膀胱・直腸機能障害① 医学の基礎知識			
	事前・事後学習	テキスト P121～P128 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
12	授業内容	膀胱・直腸機能障害② 障害に応じた生活支援			
	事前・事後学習	小テストの範囲(第 8 回～第 11 回)の勉強。			
13	授業内容	(小テスト③と解説) 小腸機能障害 医学の基礎知識、障害に応じた生活支援			
	事前・事後学習	テキスト P134～P145 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
14	授業内容	HIV による免疫の機能障害 医学の基礎知識、障害に応じた生活支援			
	事前・事後学習	テキスト P146～P155 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
15	授業内容	肝臓機能障害 医学の基礎知識、障害に応じた生活支援			
	事前・事後学習	テキスト P158～P166 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			